

中学生と保護者のみなさんへ

(大阪府教育委員会 平成 27 年 2 月)

現中学 2 年生が受験する入学者選抜(以下「入試」という。)から 大阪府の公立高校の入試制度が変わります！

・入試は、原則 1 回になります。

実技検査や面接を行う学科は特別選抜(2月)、それ以外の学科は一般選抜(3月)

・同じ高校の中で、複数学科を志望[※]できます。

(例) ○○高校：第 1 志望「文理学科」、第 2 志望「普通科」
△△高校：第 1 志望「国際教養科」、第 2 志望「普通科」 など
※複数志望できる学科については、別途お知らせします。

・学力検査は、5 教科[※]が基本になります。

※国語・社会・数学・理科・英語(リスニングテストを含む。)
・定時制の課程は 3 教科(国語・数学・英語)、通信制の課程は面接を実施します。

・自己申告書の提出が必要になります。

・受験生は、あらかじめ教育委員会が示すテーマについて記載し、出願時に提出します。
(中国等帰国外国人生徒選抜を除く。)
・特別選抜(面接を実施する場合)や、ボーダーゾーン(合否ボーダーラインの上下 10%) 内の判定資料となります。

・調査書の評価対象学年が広がります。(第 3 学年のみ → 第 1・2・3 学年に変更)

	対象学年 (比率)
H28 年度入試	第 3 学年のみ
H29 年度入試	第 2、第 3 学年 (第 2 学年：第 3 学年 = 1 : 3)
H30 年度入試 以降	第 1 学年から第 3 学年 (第 1 学年：第 2 学年：第 3 学年 = 1 : 1 : 3)

・調査書の記載内容が変わります。

- 平成 28 年度入試から、目標に準拠した評価(絶対評価)^{*}による評定が記載されます。
* 集団における相対的な位置ではなく、学習指導要領に示す目標がどの程度実現したかを見る評価です。
なお、中学 1 年生の評定(平成 30 年度入試から)と 2 年生の評定(同 29 年度入試から)については、府全体の公平性を保つため、「チャレンジテスト」をふまえ記載されます。
チャレンジテストを実施しない中学 3 年生の評定については、公平性を保つ仕組みを別途お知らせします。
※「チャレンジテスト」とは、中学 1・2 年生を対象に 1 月に実施される府内統一のテストです。
(対象教科 中学 1 年生：国語・数学・英語、中学 2 年生：国語・社会・数学・理科・英語)
- 調査書に「活動/行動の記録」欄を新設します。
- すべての教科(9 教科)の評定は同じ重みで点数化します。
- 各高等学校の学力検査と調査書の評定の比率は別途お知らせします。

※出願書類や学力検査の時間割等は、10 月に公表し、大阪府教育委員会のウェブサイトに掲載予定です。
(<http://www.pref.osaka.jp/kotogakko/tyugakusei/index.html>)

<大阪府公立高等学校の平成 28 年度入試日程>

特別選抜(2月)

- ◆出願期間：平成 28 年 2 月 15 日(月)・16 日(火)(音楽科は、2 月 2 日(火)・3 日(水))
- ◆学力検査等：平成 28 年 2 月 22 日(月)・23 日(火) ◆合格者発表：平成 28 年 3 月 1 日(火)

課程・学科等	学力検査	学力検査以外
全日制 工業に関する学科(建築デザイン科・インテリアデザイン科・プロダクトデザイン科・映像デザイン科・ビジュアルデザイン科・デザインシステム科)・美術科・体育に関する学科・芸術文化科・演劇科・音楽科・総合造形科	5 教科(国語・社会・数学・理科・英語*) *リスニングテストを含む。	実技検査
全日制 デュアル総合学科・総合学科(エンパワメントスクール)		面接
多部制 単位制 Ⅰ部・Ⅱ部(クリエイティブスクール) 普通科		
昼夜間 単位制 普通科・ビジネス科		

※知的障がい高等支援学校職業学科(本校)及び知的障がい高等支援学校職業学科(共生推進教室)の入試については、特別選抜の日程に準じて実施します。

一般選抜(3月)

- ◆出願期間：平成 28 年 3 月 3 日(木)～7 日(月)(ただし、3 月 5 日(土)・6 日(日)を除く。)
(通信制の課程は、3 月 4 日(金)～7 日(月)(ただし、3 月 5 日(土)を除く。))
- ◆学力検査等：平成 28 年 3 月 10 日(木) ◆合格者発表：平成 28 年 3 月 18 日(金)

課程・学科等	学力検査	学力検査以外
全日制 すべての学科(特別選抜を行う学科を除く。)	5 教科(国語・社会・数学・理科・英語*) *リスニングテストを含む。	—
定時制 すべての学科(昼夜間単位制を除く。)	3 教科(国語・数学・英語*) *リスニングテストを含む。	—
多部制 単位制 Ⅲ部(クリエイティブスクール) 普通科	—	面接 ^(*)
通信制 普通科		

その他の入学者選抜(2月 ※一部例外あり)

◆特別選抜の日程に準じて実施します。

選抜名	検査項目
帰国生選抜	学力検査(数学・英語)・面接 ^(*)
中国等帰国外国人生徒選抜	学力検査(数学・英語)・作文(日本語以外可)
中高一貫選抜	小論文・面接 ^(*)
自立支援選抜	面接 ^(*) (保護者同伴)
自立支援補充選抜(二次選抜と同時に実施)	面接 ^(*) (保護者同伴)
秋季選抜(平成 28 年 9 月中旬に実施)	基礎学力診断検査(3 教科)・面接 ^(*)

(面接^(*)：自己申告書を面接の参考資料にするもの)

二次選抜(3月下旬)

- ◆出願及び面接日：平成 28 年 3 月 23 日(水) ◆合格者発表：平成 28 年 3 月 25 日(金)

学科等	検査項目
合格者数が募集人員に満たなかった学科等	面接 ^(*)

(面接^(*)：自己申告書を面接の参考資料にするもの)

FAQ（よくある質問と回答）

特別選抜と一般選抜のうち、1つしか受験できないの？

- A. 特別選抜で不合格になった場合は、一般選抜が受験できます。
また、特別選抜、一般選抜で、合格者数が募集人員に満たない高校では、二次選抜を実施します。

調査書の「活動/行動の記録」には何が書かれるの？

- A. 教科、総合的な学習の時間、特別活動、部活動、学校行事、その他校内での日常生活など、中学校での学校生活全般の中で、あなたがどんな活動や行動をしていたのか、具体的な事実とともに記載されます。

自己申告書・調査書の「活動/行動の記録」は何に使うの？

- A. 一般選抜と特別選抜（実技検査を行う場合）のボーダーゾーン（合否ボーダーラインの上下10%）内の合格者を決定するときや、特別選抜（面接を行う場合）で、募集人員の上限50%までの合格者を決定するときの判定資料となります。一般選抜（通信制の課程）、二次選抜及びその他の入学者選抜では、面接の参考資料とします。自己申告書や調査書の「活動/行動の記録」に書かれていることが、その高校の「アドミッションポリシー（求める生徒像）」に合っているかどうかを判断します。

自己申告書には、どのようなことを書くのですか？

- A. 例えば、「中学校3年間で何を学んだか。また、それを高等学校でどう活かしたいか。」「3年後の自分を想像してみる。」など、あらかじめ教育委員会が示したテーマについて、これまでの経験や今、考えていること、将来の希望などを文章にします。

学力検査は、すべての学校で同じ問題なの？

- A. 国語・数学・英語は、難易度別に、特別選抜では2種類、一般選抜では3種類の問題を作成します。各高等学校が使用する問題の種類は、事前に公表します。

Webページには、過去の入試問題や高等学校のこと、あなたの知りたい情報が満載！

中学生のみなさんへ！

おいでよ、公立高校へ！

大阪府公立高等学校・実業学校検索ナビ

「味くたび」

各校のアドミッションポリシーや学力検査問題の種類はいつわかるの？

- A. 毎年、夏頃に公表予定です。平成28年度は、7月頃に大阪府HPで公表予定です。

総合点はどのように計算するの？

- A. ◆選抜によって、総合点の計算方法は異なります。

*一般選抜（通信制の課程を除く。）、特別選抜（面接を行う場合）

- (1) 学力検査の各教科の成績を合計します。
- (2) 調査書中の各教科の評定に、教育委員会が定める倍率をそれぞれ乗じて合計します。
- (3) (1)と(2)で算出した点数に、各高等学校が選んだ学力検査と調査書の評定の倍率をそれぞれ乗じて合計します。

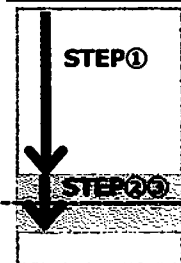
*特別選抜（実技検査を行う場合）

- (1) 上記一般選抜等と同様に計算した点数に、実技検査の成績を加えた点数になります。

合格者の決定方法は？

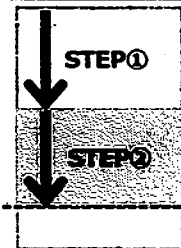
- A. 一般選抜、特別選抜の決定方法は以下のとおりです。

*一般選抜（通信制の課程を除く。）、特別選抜（実技検査を行う場合）



- STEP①** 募集人員の90% 総合点の高い者から合格とする。
- STEP②** 募集人員の10%以内 ボーダーゾーン（合否ボーダーラインの上下10%）内で、自己申告書、調査書の「活動/行動の記録」がその高校のアドミッションポリシー（求める生徒像）に合う者を合格とする。
- STEP③** 募集人員の残り 総合点の高い者から合格とする。
- 合否ボーダーライン
ボーダーゾーン（合否ボーダーライン上下10%）

*特別選抜（面接を行う場合）



- STEP①** 募集人員の上限50% 学力検査の成績が一定以上だった受験生のうち、その高校のアドミッションポリシーに合う者を合格とする。評価は、面接：自己申告書：調査書の「活動/行動の記録」=2：1：1で行う。
- STEP②** 募集人員の残り 総合点の高い者から合格とする。
- 合否ボーダーライン



大阪府

教育委員会事務局教育振興室 高等学校課

〒540-8571 大阪市中央区大手前2丁目 電話 06 (6944) 6887

このリーフレットは181,000部作成し、一部当たりの単価は1.4円です。